

鎌倉女子大学

児童学部
児童学科

こども保育コース（白河高校出身）

(※2022年度入学者から新カリキュラムとなります)

Q. 編入を考えたのは、いつからでしたか？また、その理由を教えてください。

短大に入学した時から希望はしていました。しかし、現在の目的をもって編入を決めたのは2年生の10月頃です。卒業論文の作成過程で「保育職に就くことを考えた編入」から「小学校の教諭になるための編入」に変更しました。保育関係の自分の研究結果が小学校にも当てはまり「非常に重要なことだ」と意識し始めたことで、小学校課程への編入を決めました。

Q. 編入までのプロセスを具体的に教えてください。ガイダンスはいつ、どのような内容ですか。

ご指導いただいていた先生に編入学募集一覧表を見ていただき、アドバイスをいただきました。過去問を取り寄せたり、ビデオ通話で入試課の方と面接をして、情報を集めていきました。小論文は、書き方の参考書を読んで勉強し、志望理由書とともに、先生に添削をしていただいていたいました。面接の練習は、試験の2週間前から行いました。

Q. 実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

1年生の後期から、キャリアデザインⅡ・Ⅲで編入を希望する人のクラスに参加し、編入ではどのようなことが求められるのかを教えていただいたり、先輩からのアドバイスを伺ったりすることができました。

Q. 編入対策で努力したことは何ですか。具体的にどのような勉強をいつからしましたか。

10月から志望理由書を作成し、数人の先生方に添削をお願いしました。小論文は「落とされない小論文」という著書を読んでポイントを掴み、過去問を7題解きました。面接は、数人の先生方をお願いし、練習しました。

Q. 聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

2年間保育の学びをしたことで、かなりの専門知識を得ることができました。保育・教育系学科への編入では、小論文のテーマとして取り上げられることが多い領域なので、普段の授業はしっかり聞いておくことが大切です。

Q. 先生のアドバイスで役に立ったことはどんなことですか。

小論文の書き方がわからず、個人的にご指導いただいたことが大きな進歩でした。志望理由書には「受験する大学で関心のある教授を調べ、論文や著書を読んでどう感じたかを加えるとよい」というアドバイスをいただきました。

Q. ①大学（短大）受験の時の気持ち・②短大入学時（学生生活）の気持ち・③編入試験前の気持ち・④合格した時の気持ちを教えてください。

①保育関係は初めて触れる分野だったので、新しいことが学べることに期待していました。

②初めは国公立の編入を目指していましたが、受験科目の英語が不得手なため大変でした。

③「私立だから頑張れば大丈夫」という先生方からの励ましの言葉への期待感と、完璧ではない自分への不安が入り混じっていました。

④結果に期待と不安がありましたが「今回は不合格でもまだ先があるから」と自分を励ましていました。

Q. これから聖母短大に入学する、または聖母短大から編入を目指す後輩に伝えたいことは何ですか。

十分に学びたいことは学べます。私のように更に多くのことを学びたい方や、4年制大学へ行き複数の資格や免許を取得したいと考える方は、自分の夢を叶えてほしいです。それなりの試練はありますが、一人で悩まず、先生方に頼ったり相談したりしながら、頑張ってもらいたいと思います。